

ナノプローブテクノロジー第167委員会 第66回研究会
テーマ「バイオイメージング・計測技術の最先端」

バイオナノプローブ技術の持続的な発展とその将来を見据え、著しく進歩するバイオイメージング・計測技術の最新動向と方向性を探るべく、今回の研究会を企画しました。

日時：平成24年4月19日（木） 13:00～17:30

場所：産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館 11階 会議室 (11205～6)

プログラム

13:00～13:10 事務連絡

13:10～13:45 コヒーレントX線顕微鏡

石川 哲也 先生（理化学研究所）

13:45～14:20 Overview of SICM Applications and its Future Perspectives in Cell Biology

Dr. Sang-Joon Cho (Park Systems Corp.)

14:20～14:55 質量顕微鏡によるバイオイメージング：現状と将来展望

瀬藤 光利 先生（浜松医科大学）

14:55～15:00 総会

15:00～15:20 休憩

15:20～15:55 改変蛍光タンパク質を利用した生理機能の可視化

永井 健治 先生（大阪大学）

15:55～16:30 In-Cell NMR法による細胞内分子動態解析

伊藤 隆 先生（首都大学東京）

16:30～16:55 高速バイオSPMイメージングのロードマップ

安藤 敏夫 先生（金沢大学）

16:55～17:30 位相コントラスト電子顕微鏡による生体イメージング

永山 國昭 先生（自然科学研究機構生理学研究所）

17:45-19:30 懇親会

会場：グリーンズシェフ (Tel : 03-5500-4180)

場所：東京都江東区青梅 2-43 青梅フロンティアビル 1F
(研究会会場からテレコムセンター駅に向かう途中です)

会費：3,500 円

※多数のみなさまのご参加お待ちしております。



企画委員：豊田工業大学・吉村 雅満、北海道大学・岡嶋 孝治